

# 多様化時代の経営戦略探る

静岡県中部未来懇話会 平成28年度臨時社員総会



## 29年度事業計画など承認

## 女性活躍とダイバーシテイに焦点

一般社団法人・静岡県中部未来懇話会の平成28年度臨時社員総会が3月7日、

静岡市のホテルアソシア静岡で開かれた。正会員、特別会員、賛助会員合わせて約110人が出席し、29年

度事業計画などを原案通り承認した。

冒頭、当懇話会会長の大石剛・静岡新聞社社長があいさつし、「ことしに入っ

て世界はますます騒がしくなっている。トランプ大統領の政権運営がどうなるのかもまだ見えてこない」と日本を取り巻く国際情勢に触れた後、「県内では6月末に県知事選を迎え、こちらの行方も気にかかる」と政経研究会から改組して8年目を迎える。今後も会員の皆様にお役に立てる情報を提供していきたい」と述べた。

この後事務局が次年度の

事業計画などを説明。その柱となる年間調査研究テーマは「多様性の時代における新たな経営戦略」ダイバーシテイ経営のあり方を探る。生産人口減少という局面を迎え、女性の活躍

できる環境整備や多様な人材がその能力を最大限発揮できる機会を提供することが急務となっている。そこで春（6月）と秋（10月）の2回、「女性活躍推進と企業経営」「ダイバーシテイ経営の可能性」と題してそれぞれシンポジウムを開催し、討議する。

議事では29年度収支予算案も了承した。また、商工会議所会頭の異動に伴い、酒井公夫・静岡商議所会頭、山田壽久・藤枝商議所会頭、岩原茂雄・島田商議所会頭の顧問就任、当懇話会研究部会長の西野勝明・静岡県

立大経営情報学部教授の退任に伴い、研究委員の日詰一幸・静岡大人文社会科学部教授の研究部会長と竹下誠二郎・静岡県立大経営情報学部教授の研究委員就任も報告、了承された。

このほか当懇話会の提言で設置された「中部地域経営会議」について、前年度に引き続き「中部地域の創生ビジョン」女性の活躍編」の具体化に向けて取り組んでいる活動などが報告された。

総会後、共同通信社論説委員長の杉田弘樹氏による記念時局講演会「トランプ新大統領と日米関係の行方」が行われた。

講演会後、会員親睦会も開かれ、政治や経済などについて意見を交わした。

（4〜5ページに講演抄録）